令和5年11月13日

大船渡湾内観測結果（No.8）

“今月の話題”
　湾内全域で表層の水温が低下し、17～19℃となっていました。
　前月に引き続き、2.5m層及び15m層で2～3℃程度、過去の結果より高くなりました。

11月9日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

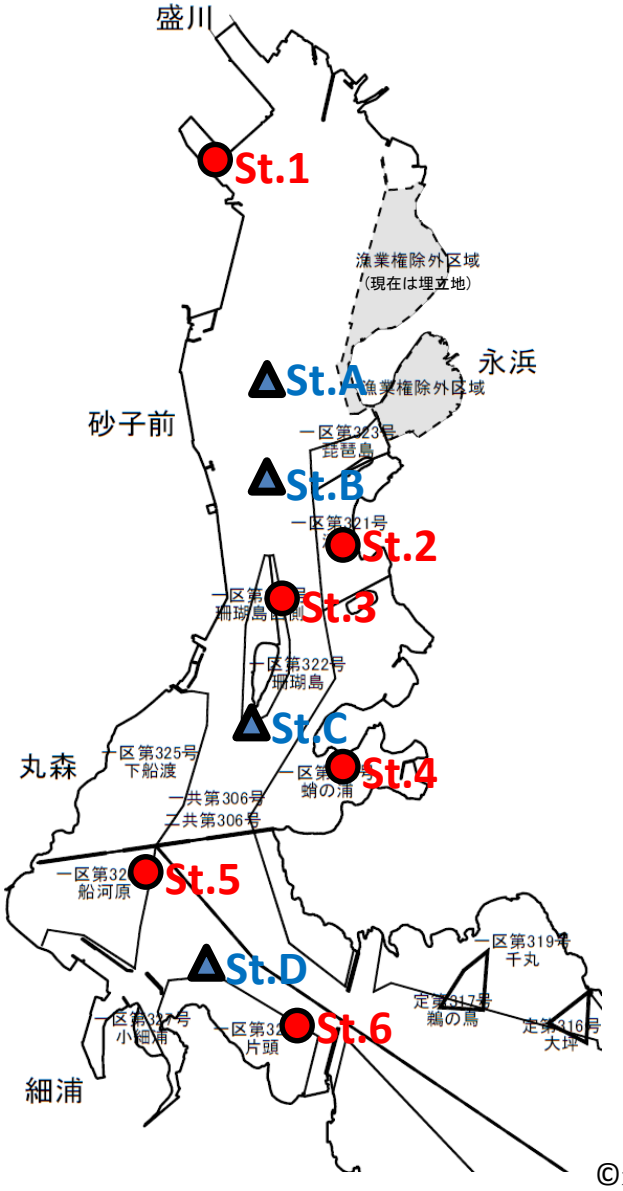
表層の水温は前月から1～3℃低下していましたが、過去の結果（2013～2022年度の平均値）より高い状態が続いていました。2.5m層及び15m層（St.1を除く）では過去の結果より2～3℃程度高くなりました。

前月まで低い値で推移していたSt.3、5及び6の底層の溶存酸素飽和度が上昇しました。

強風によりSt.A～Dは欠測となりました。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和5年11月9日					
観測時刻		11:22	11:39	11:03	10:49	10:37	10:26
水深（m）		9.2	23.9	29.1	17.0	27.4	38.6
透明度（m）		6.0	8.0	9.0	10.0	9.5	6.5
水色		7	6	6	5	5	5
水温（℃）	表層	19.1	18.6	18.7	17.7	18.2	18.4
	2.5m層	19.2	18.9	18.7	18.7	18.5	18.5
	10m層	－	18.9	19.0	19.0	18.9	19.1
	15m層	－	18.5	18.6	18.4	18.5	18.5
	底層	19.0	18.0	17.9	18.3	17.7	17.6
塩分	表層	33.54	32.77	32.97	31.66	32.45	32.54
	2.5m層	33.91	33.17	32.99	32.86	32.66	32.78
	10m層	－	34.13	34.12	34.14	34.18	34.18
	15m層	－	34.13	34.17	34.16	34.18	34.20
	底層	34.15	34.15	34.18	34.17	34.18	34.24
溶存酸素飽和度(%)	表層	76.9	94.5	92.7	92.0	92.2	97.3
	2.5m層	72.7	93.9	92.5	92.5	93.8	94.1
	10m層	－	88.2	89.0	81.4	89.8	86.7
	15m層	－	85.0	74.7	85.0	96.3	91.2
	底層	74.7	77.3	76.2	84.8	98.3	91.6

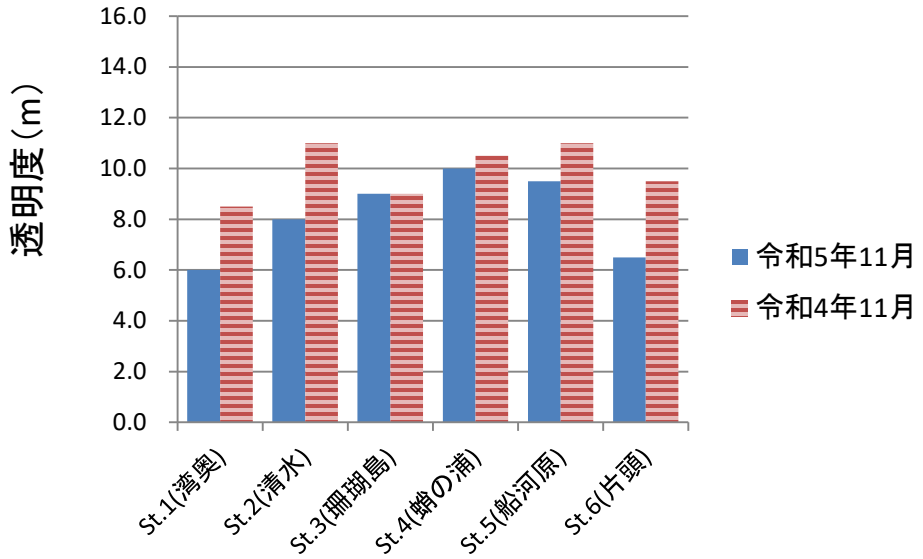


©岩手県（漁業権連絡図）

図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

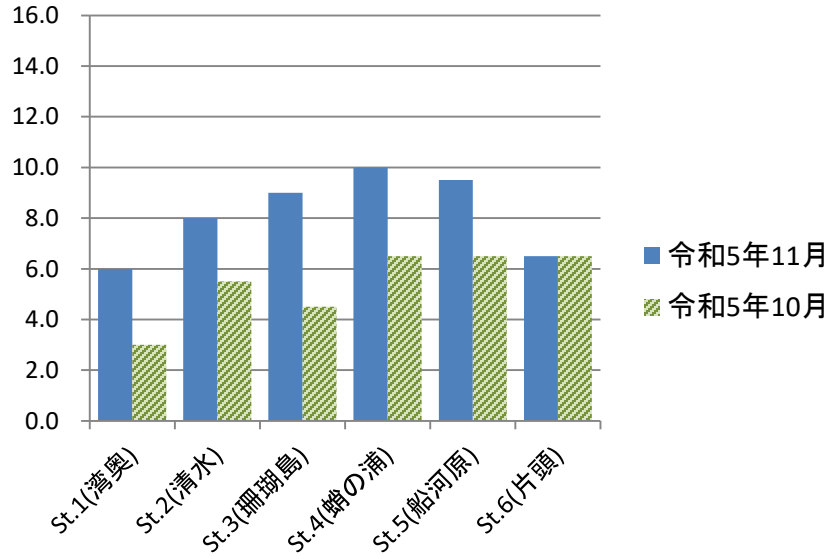
前年同月との比較



・St.1、2、5及び6で前年同月より低い

・St.3及び4で前年同月並み

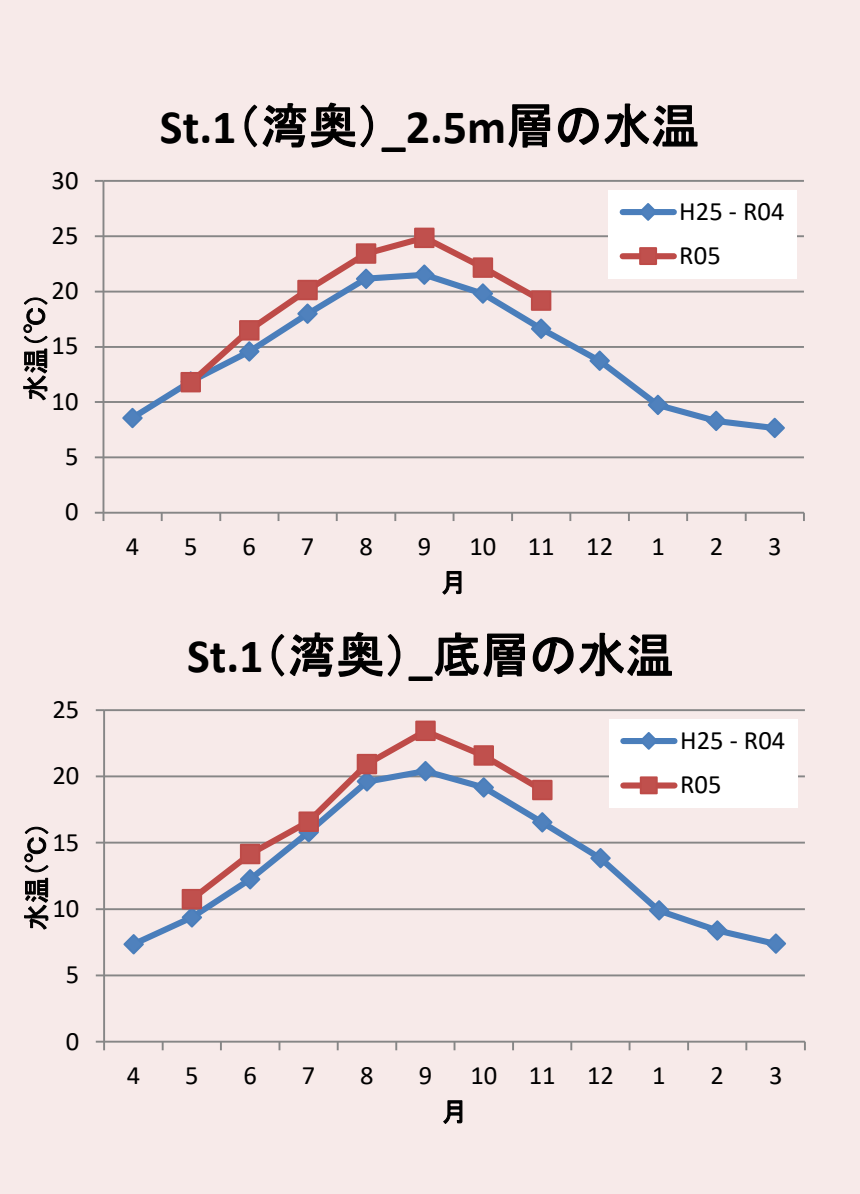
前月との比較



・St.1～5で前月より高い

・St.6で前月並み

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



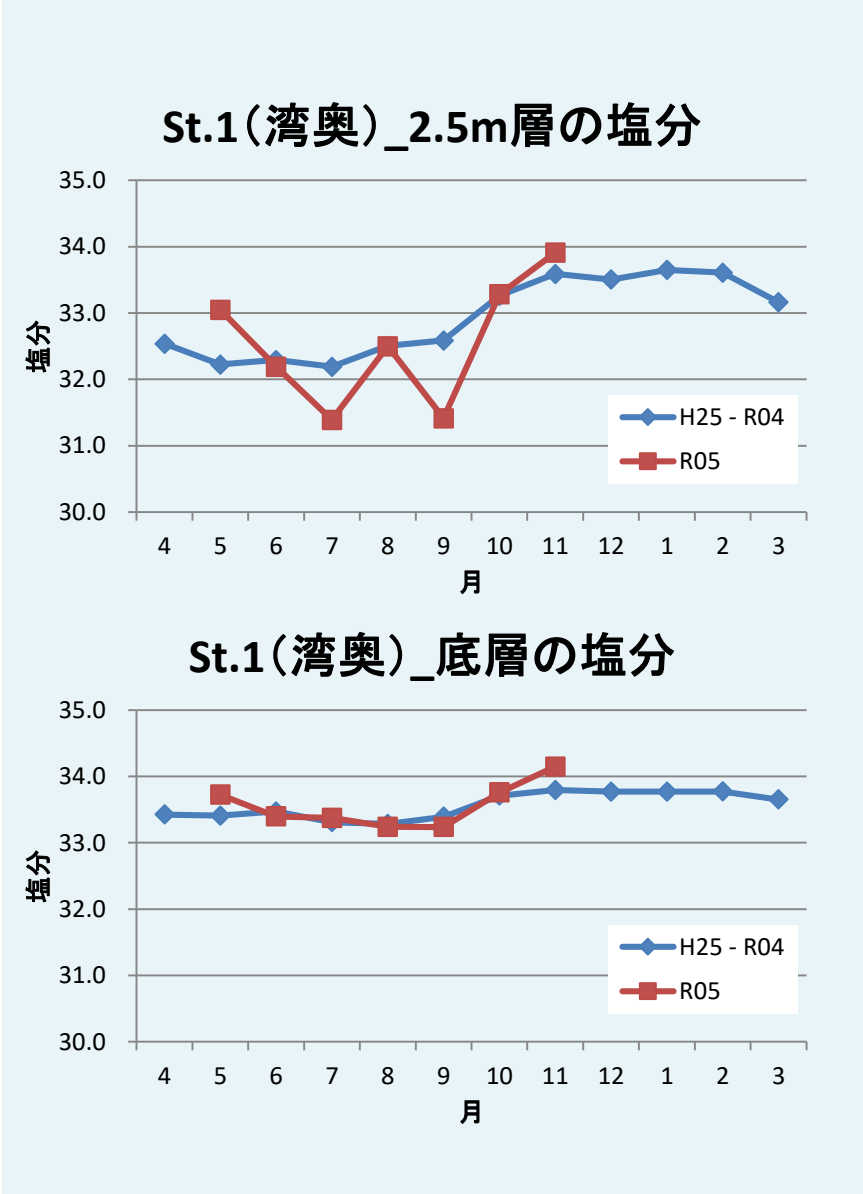
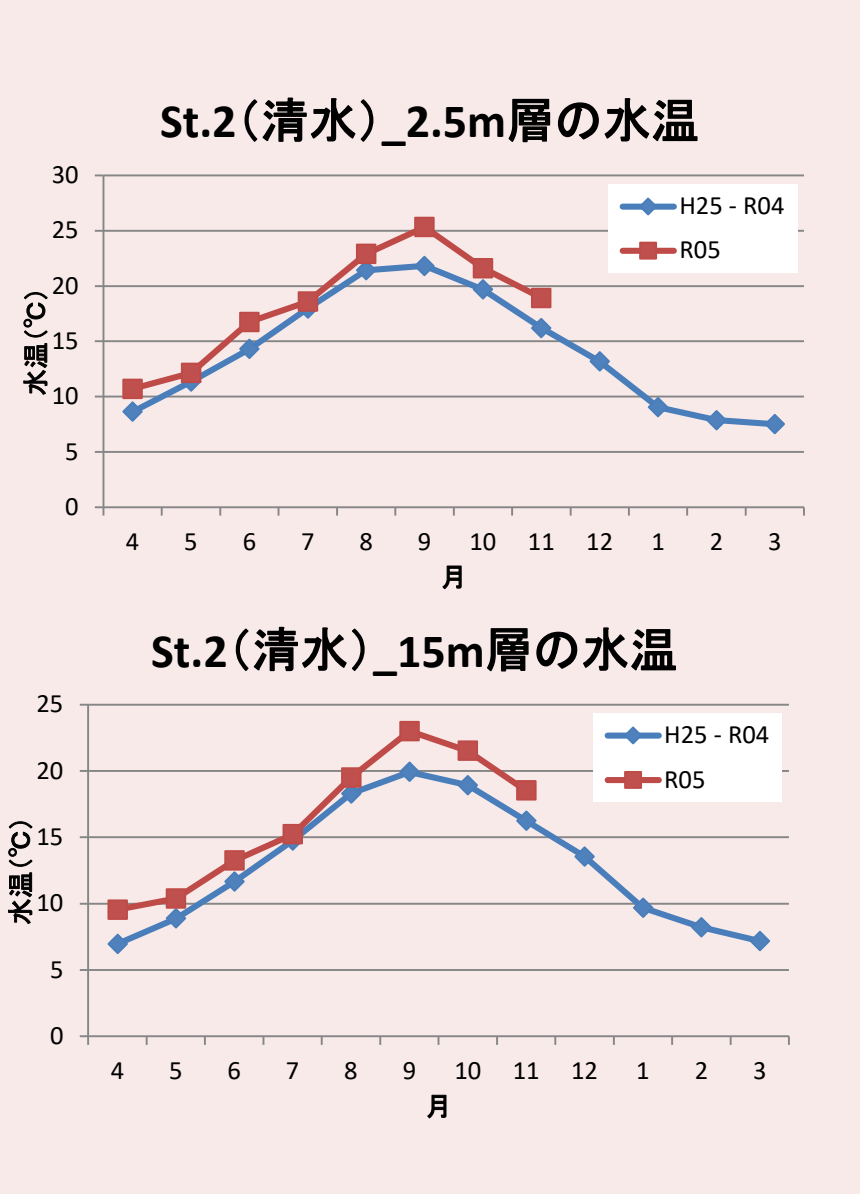


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満



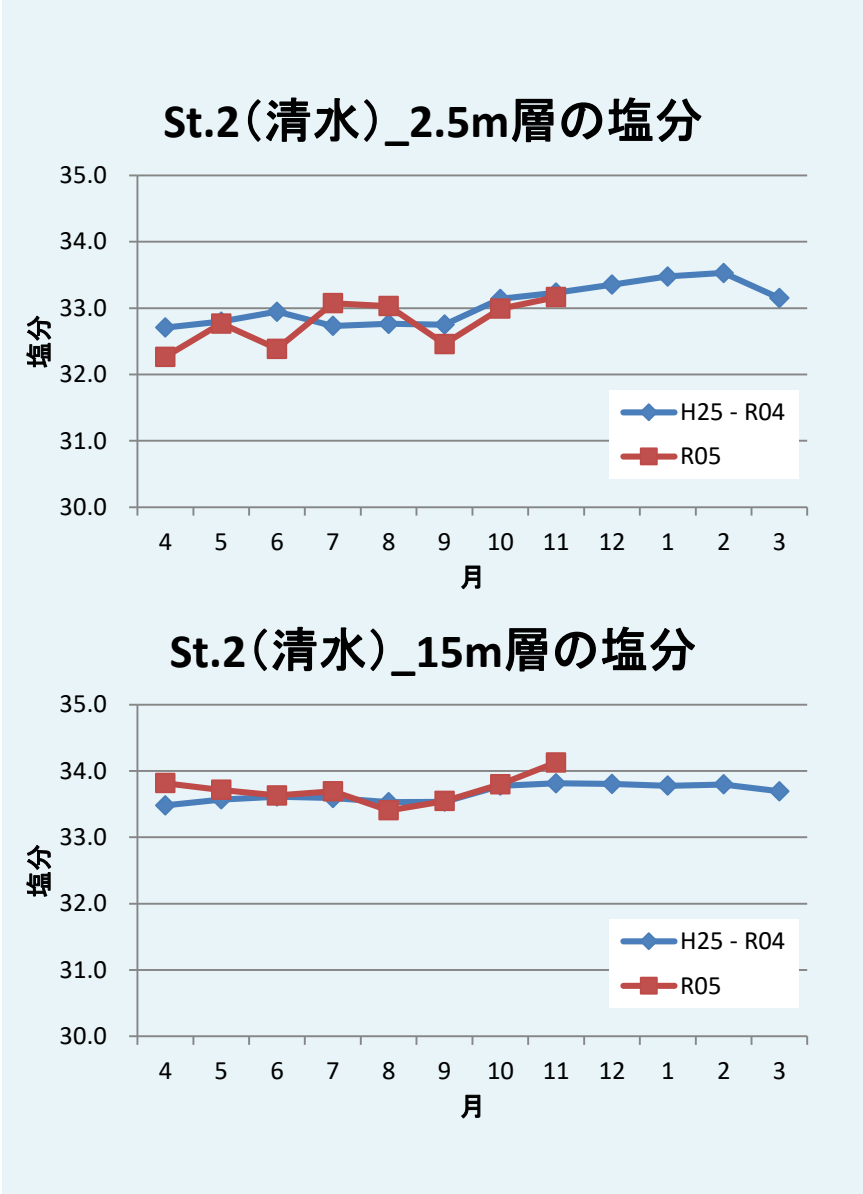


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移

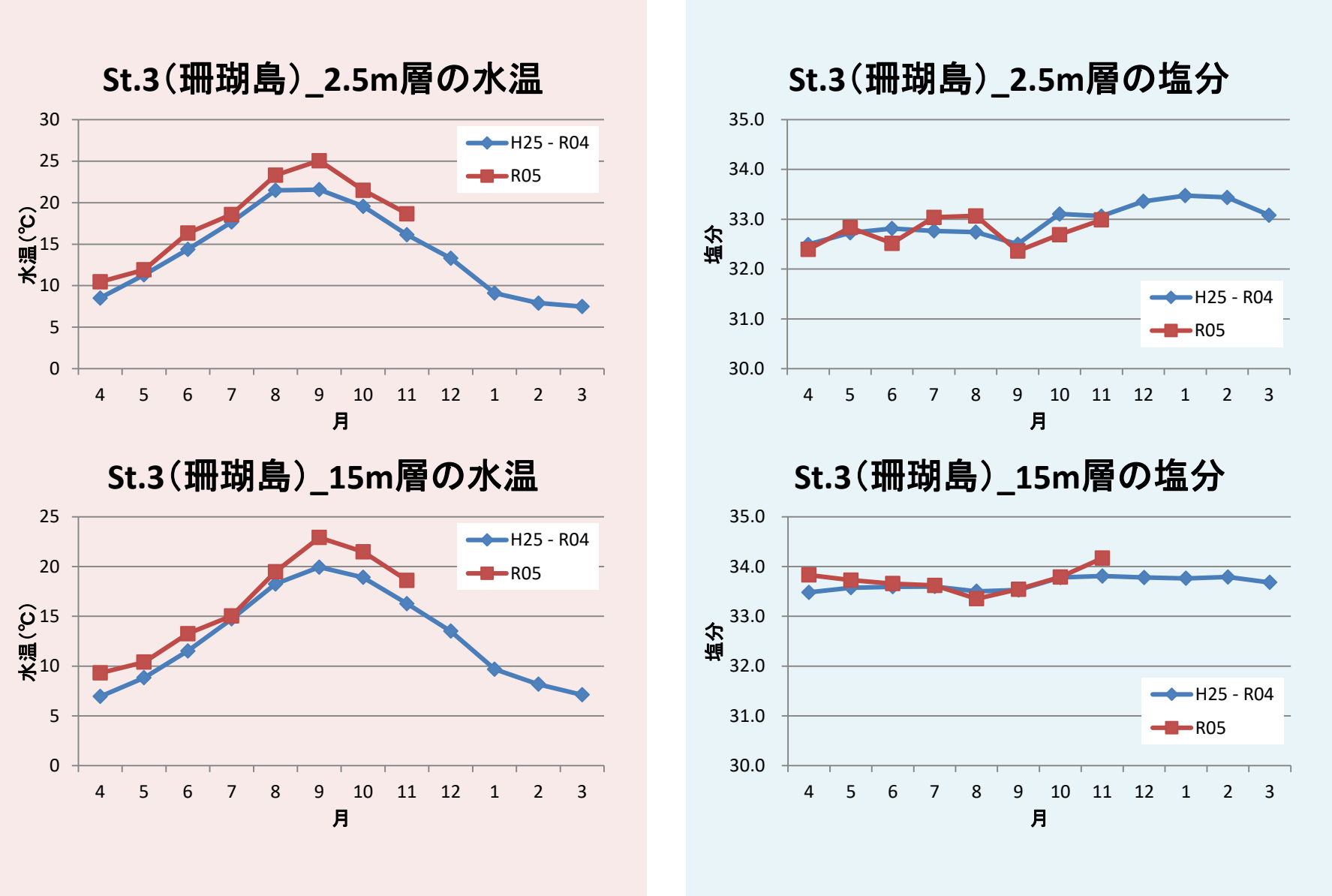
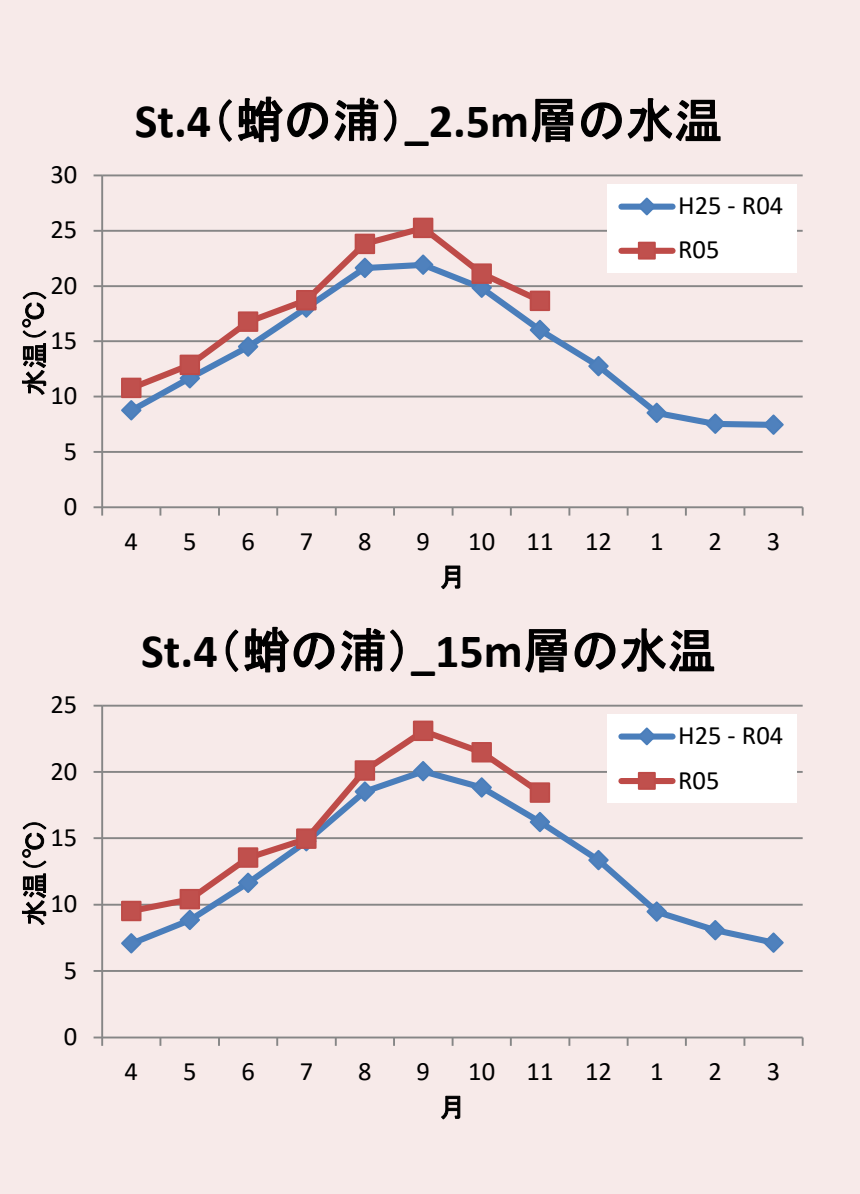


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移



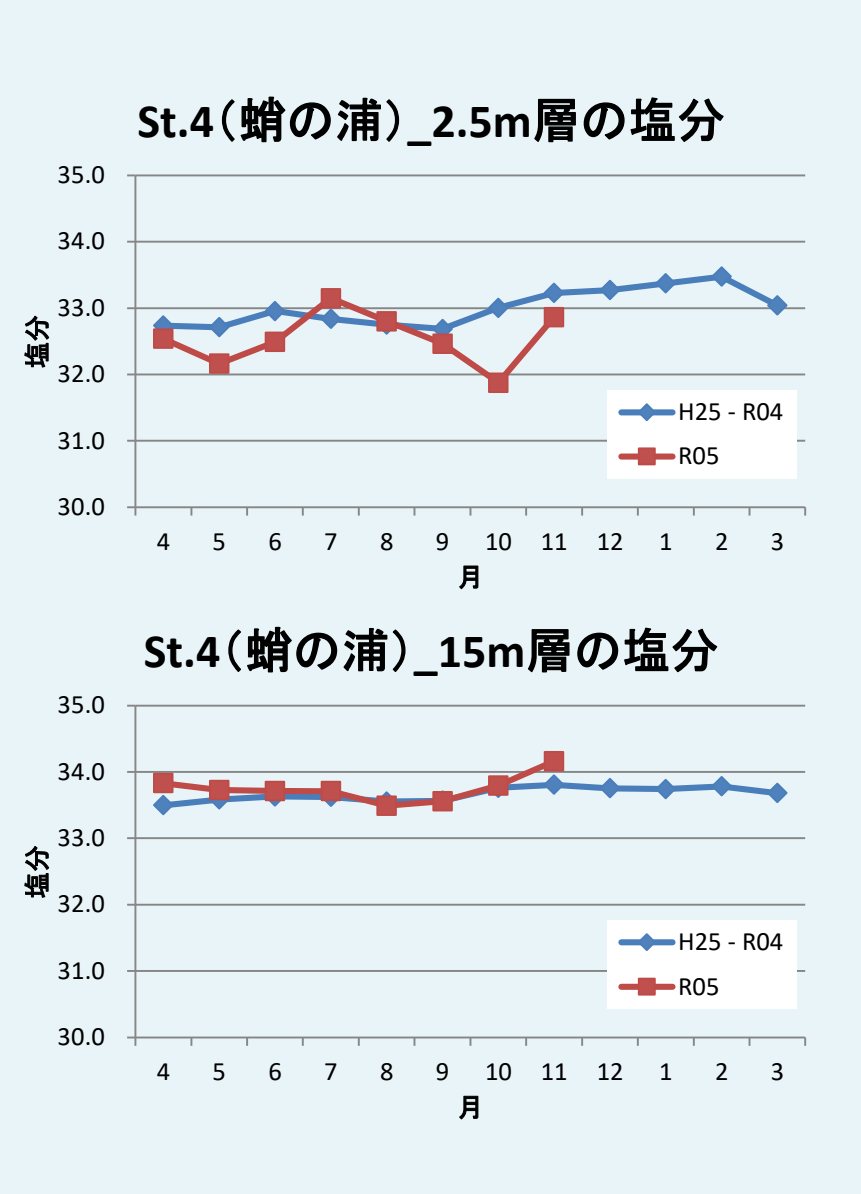


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移

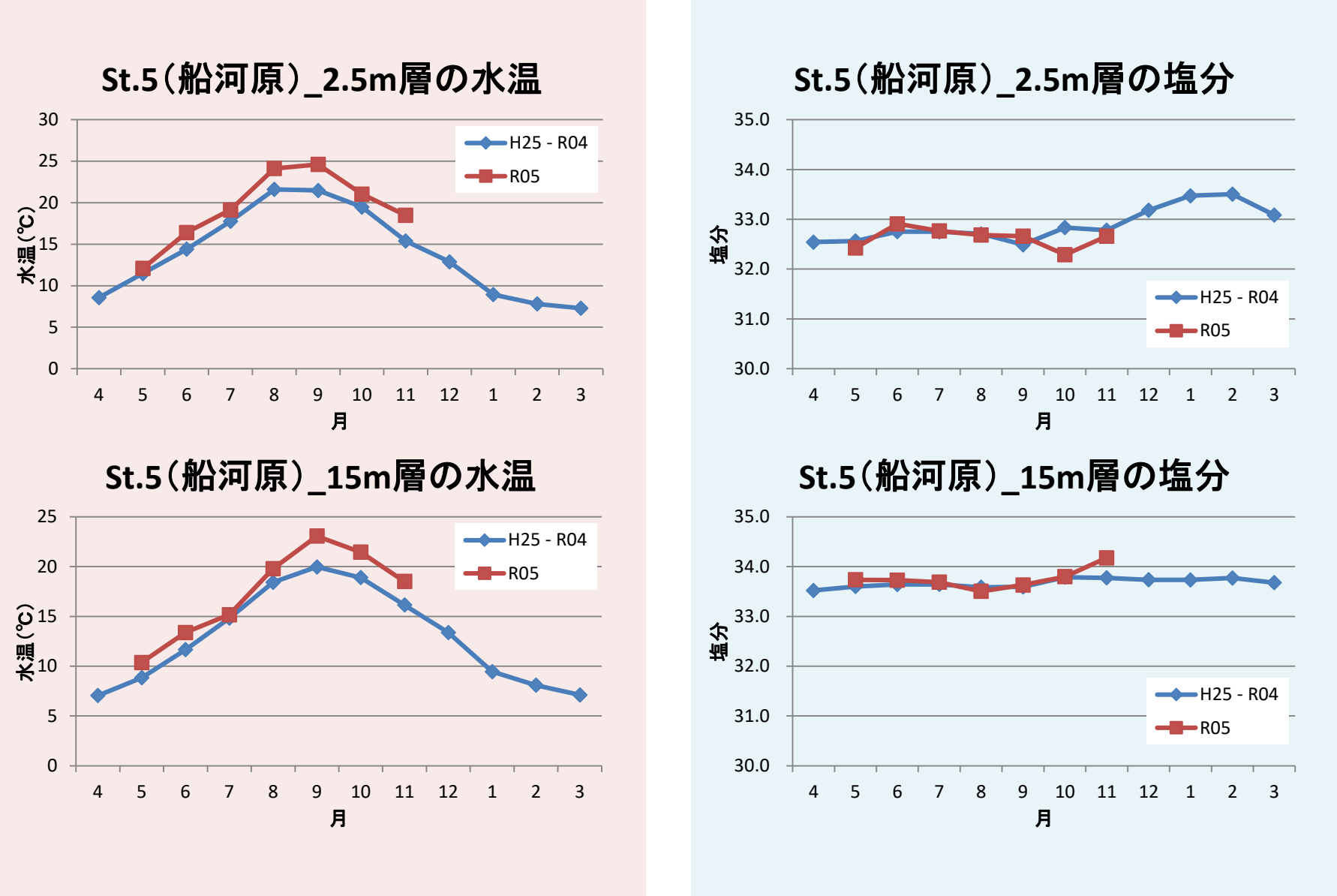


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移

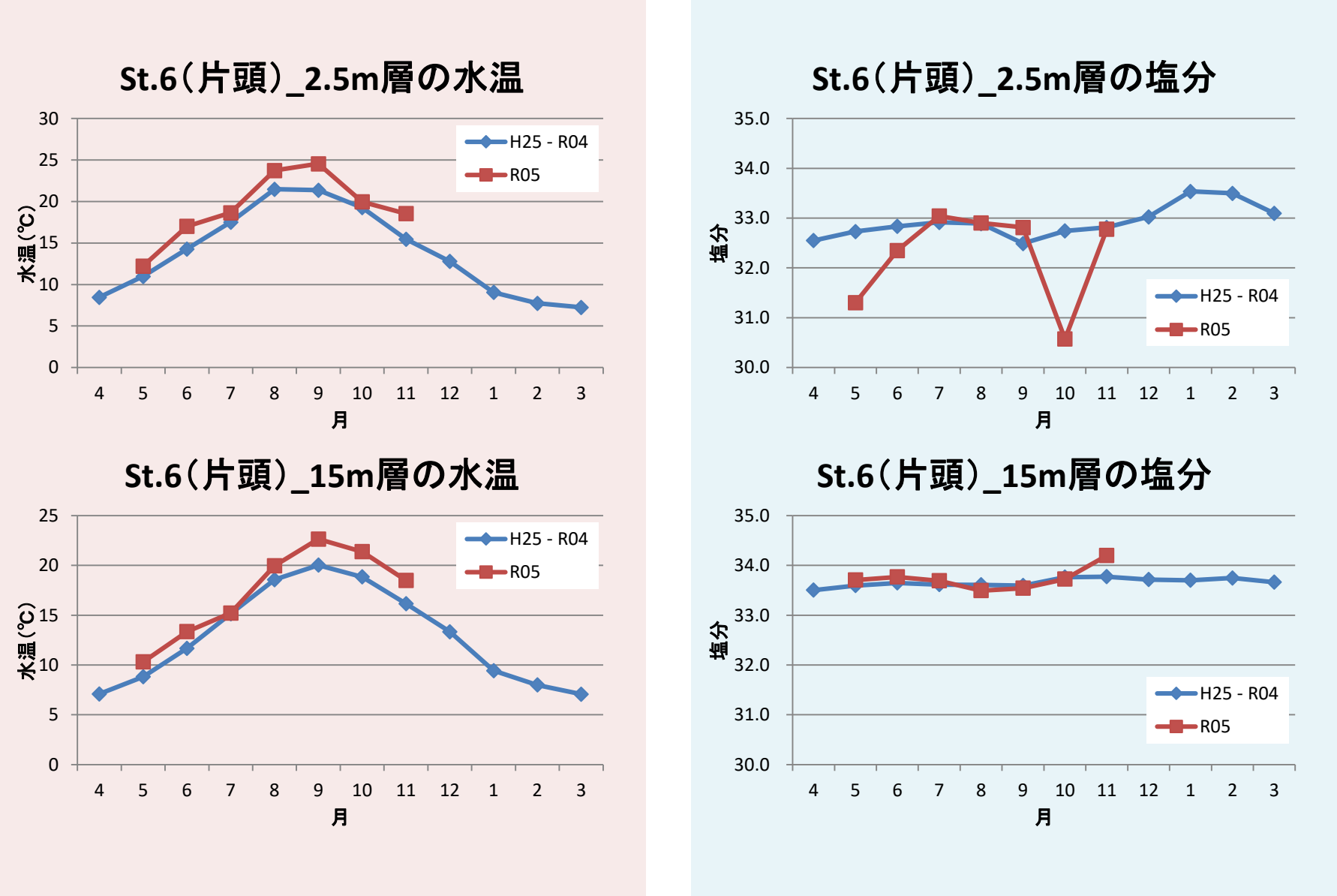


図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移

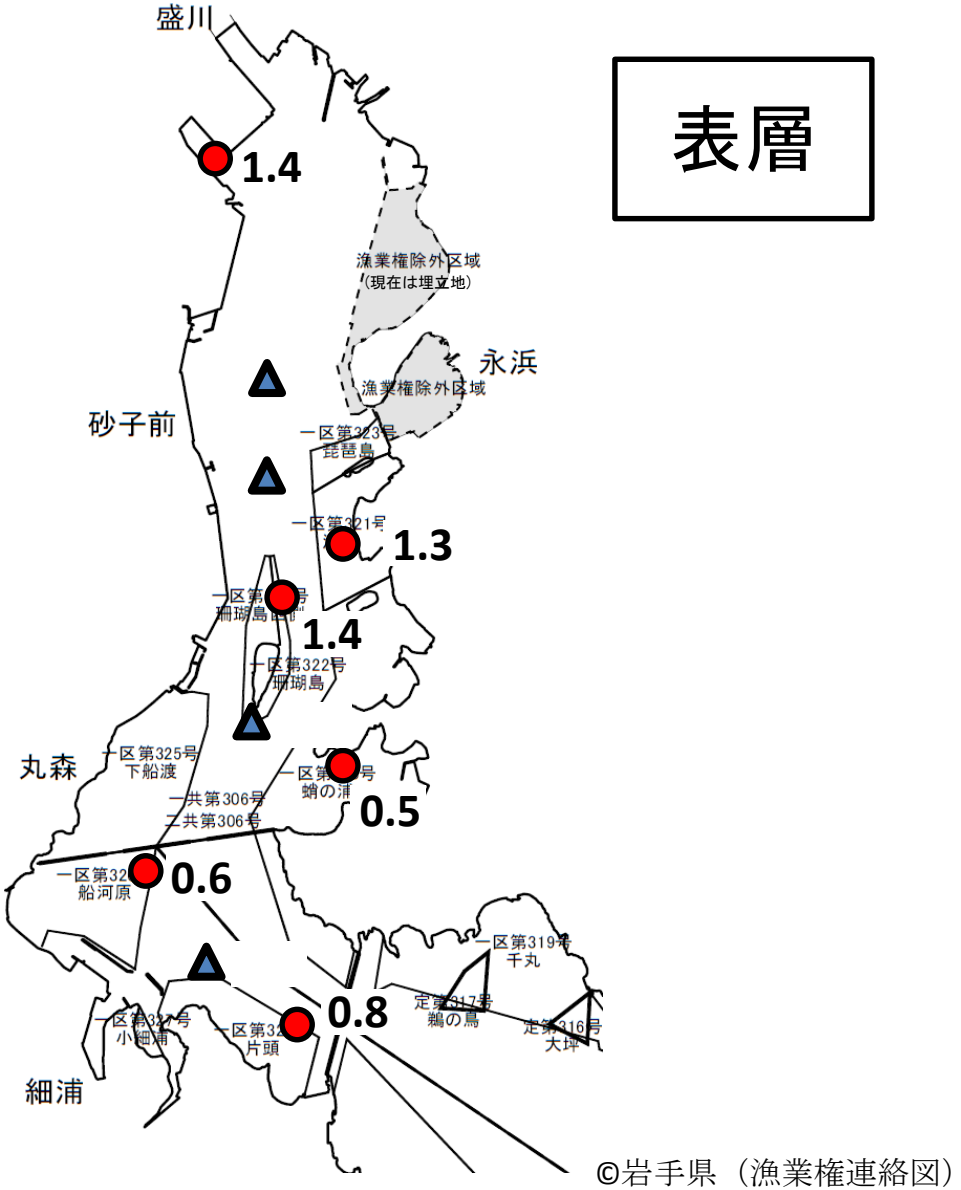


図9　表層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。

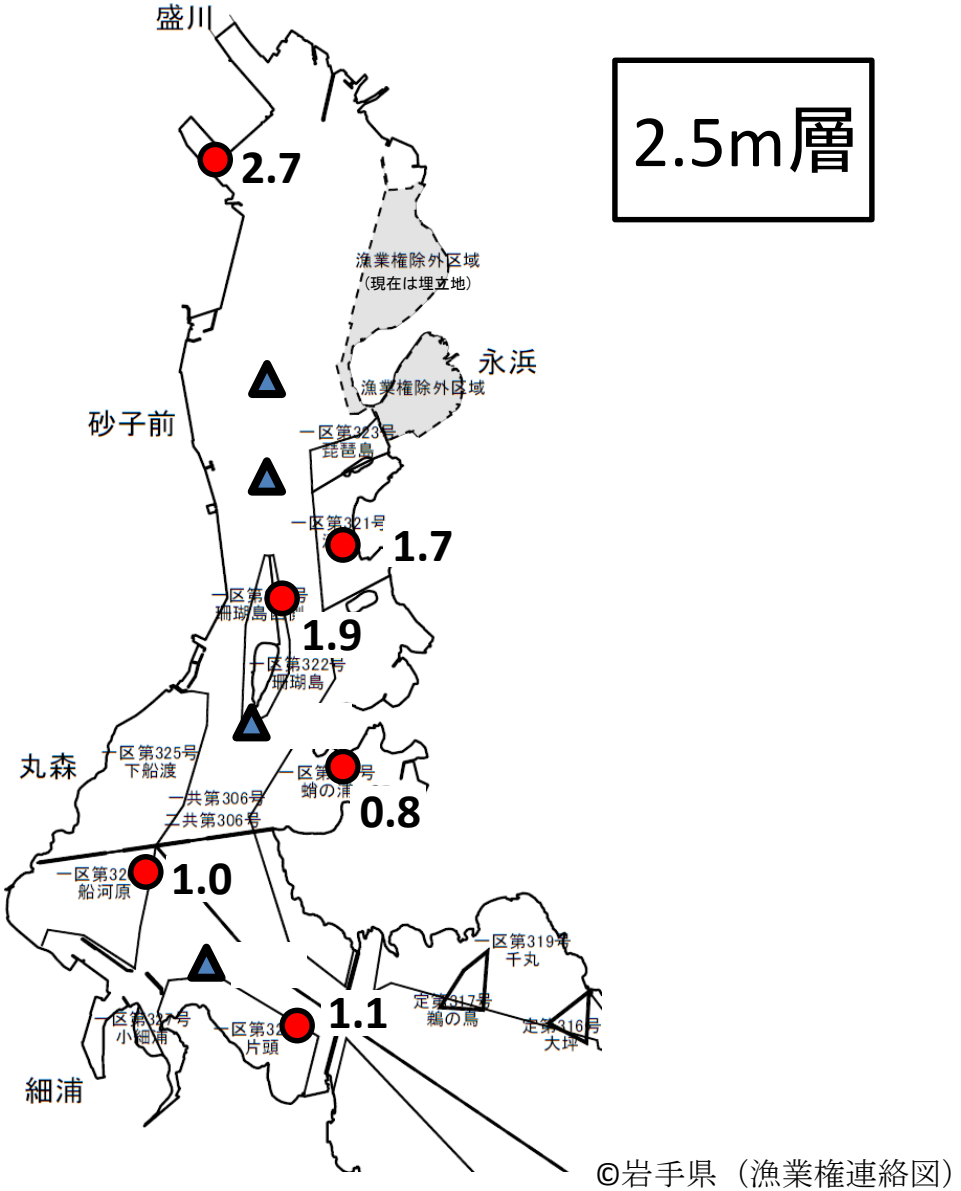
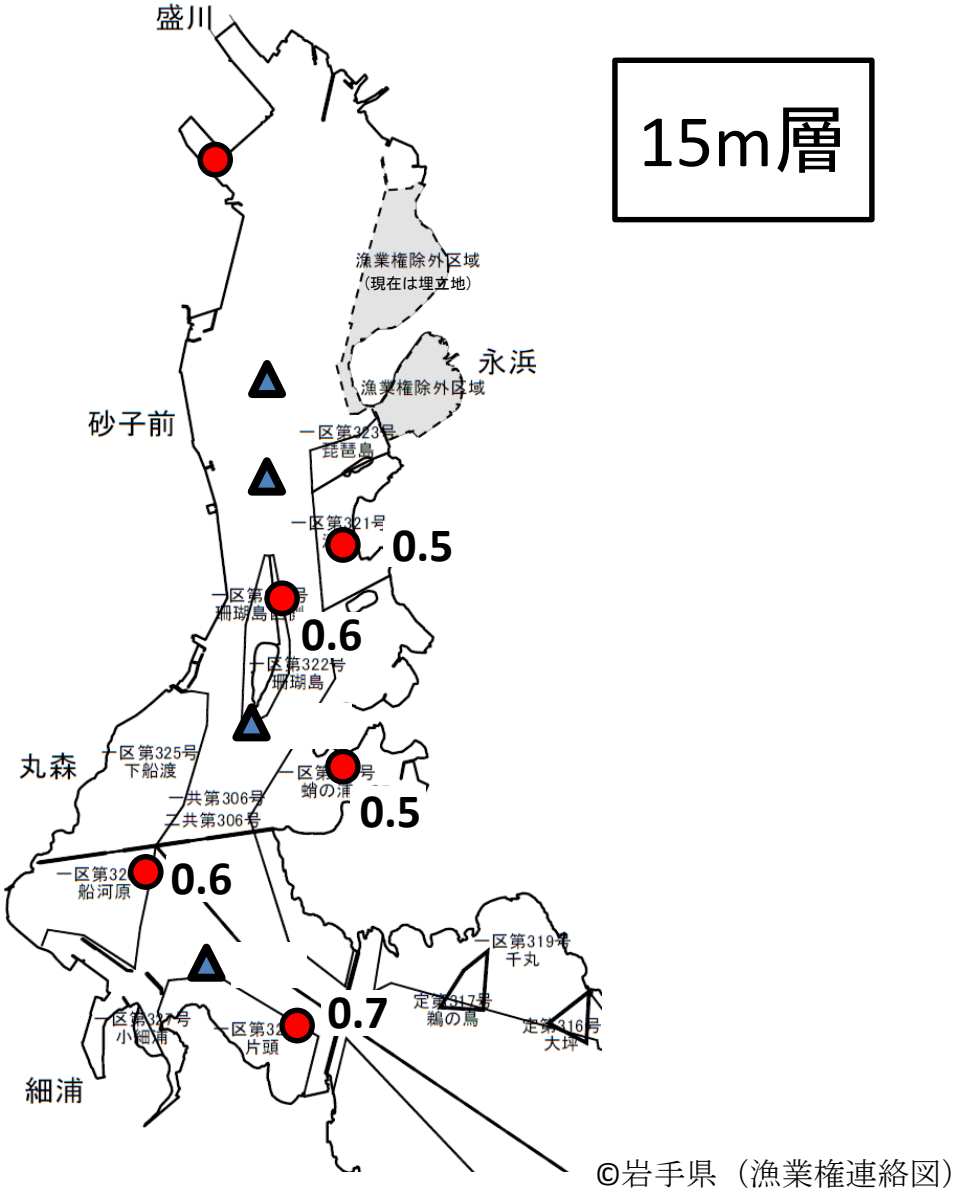


図10　2.5m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図11　15m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約8mでした。